

4 その他

平成 23 年度富里市国民健康保険特別会計決算状況について

平成 23 年度国民健康保険特別会計決算額は、歳入 56 億 1,188 万円で、前年度の 51 億 5,889 万円から 4 億 5,299 万円、8.78%の増となった。また、歳出については、53 億 8,327 万円で、前年度の 50 億 921 万円から 3 億 7,406 万円、7.47%の増となった。

歳入のうち、国民健康保険税は、5,651 万円、3.64%の増となった。内訳として、一般被保険者に係る国民健康保険税は、4,464 万円、3.14%の増となり、退職被保険者に係る国民健康保険税は、1,187 万円、9.11%の増となった。収納率としては、現年度分 79.76%、前年度比 0.62 ポイントの増、滞納繰越分 13.47%、前年度比 1.37 ポイントの増となった。

国庫支出金は、6,149 万円、4.36%の増となった。うち、療養給付費負担金は、8,879 万円、7.83%の増となった。また、財政調整交付金は、平成 22 年度から収納率に応じた減額が解除されたが 2,513 万円、10.66%の減となった。出産育児一時金補助金は、平成 23 年度の補助額は平成 22 年度の補助額の半額の 10,000 円になったため 122 万円、50.41%の減額となった。

療養給付費交付金は、社会保険診療報酬支払い基金から実績に応じて配分される交付金で 1 億 1,771 万円、55.74%の増となった。うち、過年度分として平成 22 年度の精算金が 1,586 万円あった。

前期高齢者交付金は、平成 23 年度概算額と平成 21 年度の精算金で、9,322 万円、14.59%の増となった。

県支出金は、3,456 万円、12.72%の増となった。うち、調整交付金は、3,371 万円、14.22%の増となった。

共同事業交付金は、5,868 万円、10.95%の増となった。

財産収入は、基金積立金利子で 7 万円、40.76%の増となった。

繰入金は、1,812 万円、3.69%の減となった。うち、一般会計繰入金は 2,176 万円、4.87%の減となった。そのうち、法定外の繰入金としてその他一般会計繰入金は 1 億 6,733 万円となった。基金からの繰入金は 365 万円、8.27%の増となった。

繰越金は、4,601 万円、159.63%の増となった。

諸収入は、保険税延滞金等が増となったことから 285 万円、14.95%の増となった。

歳出のうち、総務費は、809万円、18.05%の減となった。

保険給付費は、2億1,392万円、6.51%の増となった。うち、療養諸費の一般被保険者療養給付費は、1億4024万円、5.30%の増、退職被保険者療養給付費は、3,760万円、16.60%の増となった。また、一般被保険者療養費は、75万円、2.51%の増、退職被保険者等療養費は、66万円、24.84%の増となった。高額療養費の一般被保険者高額療養費は、3,352万円、11.81%の増となった。退職被保険者等高額療養費は、537万円、18.73%の増となった。出産育児一時金は、4件減の110件、葬祭諸費は、36件減の72件となった。

後期高齢者支援金は、8,237万円、11.3%の増、前期高齢者納付金は、平成21年度の精算金を含み114万円の増、老人保健拠出金は平成19年度で廃止のため349万円、95.79%の減、介護納付金は3,443万円、10.02%の増となった。

共同事業拠出金は、834万円、1.46%の増、保健事業費は177万円、7.19%の増、基金積立金は、7万円の増、諸支出金等は、平成22年度療養給付費等負担金等の返納金4,283万円などにより4,360万円、390.23%の増となった。

また、国民健康保険特別会計準備基金は、平成22年度末現在残高は652万円であったが、平成23年度末の残高は、3,386万円となった。